

仙台三高演劇部通信 3月号

◆おはようございます、仙台三高演劇部です。今月号はぽんすけがお届けします。

中学3年生の皆さん、高校受験お疲れ様でした。

余談ですが、ぽんすけが高校受験を受けたのはもう2年も前のことらしいです。ぽんすけの体感的には、まだ先月の出来事並みに最近の出来事のような感覚なのですが…。時の流れが早すぎて、驚くばかりです。高校3年間って本当にあっという間なんだなあとしみじみ感じております。そして、ついに全力部活動誘いの時期到来！というわけで、今月は「ぽんすけ的演劇の魅力」特集！！たくさん語りたいのですが、スペースに限りがあるので、今回はこの2つです。

◆演劇の魅力1～演技編～

自分じゃない誰かの人生を覗き見できること！

個人的に、演技をするということは、登場人物の人生のワンシーンを体験することだと思っています。舞台上ではその人(登場人物)として生きていたいと思っています。劇というのは、ある時間、ある瞬間を切り取ったものだと思います。その脚本がフィクションであれ、ノンフィクションであれ、その物語の中では、その時間というものは登場人物たちの人生の1ページなのです。つまり演技をしているときは、自分自身と役が同化している...というイメージの感覚でしょうか。某有名演劇少女漫画の登場人物も似たようなことを言っていた気がします。(話が脱線しますが、私、その漫画のファンなんです。実は演劇部に入りたいと思ったひとつのきっかけでもあります。新入生で語りたいという方はぽんすけまで笑)

自分じゃない”誰か”の人生を覗き見することで”自分”では気がつけなかった視点や感覚を知ることができるのもまたおもしろいところです。

少し難しく聞こえてしまったかもしれませんが、難しいというよりは奥が深いのです。知れば知るほど楽しさが倍増します。つらつらと書き連ねてしまいましたが、こんなことよりも、”演じる”ということを中心に楽しむことが何よりのポイントになると思っています。

ぽんすけも六花もフータも演劇は高校から始めました！三高演劇部の現役部員全員、入部当初は演劇初心者でした。今は六花もフータも演じる姿が板についたように感じます。

◆演劇の魅力2～裏方編～

本格的な機材を操れること！！

コンクールのときに使う照明や音響の機材は、プロの方々も使うようなすごいやつです。操作するのが本当に楽しい。ぽんすけも研修会の時に操作させてもらう機会があったのですが、楽しくてハマりました。すごくかっこいいんですよ！劇の迫力は、照明・音響なしではなかなか作り出せません。ある無しでは本当に雲泥の差。演技もうまく見える笑。

今、三高演劇部には照明・音響の専任がいないので、いまなら即、大会などで大活躍確定かも笑。操作はいっしょに覚えていこう！！

◆予告...！

来月号からなんと！仙台三高演劇部通信がリニューアル予定！！！！

リニューアルー発目の担当は...! さつまいもが大好きな、六花！！お楽しみに～！